



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

上場取引所 東 大 名 札 福

コード番号 5714 URL <http://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 政雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長

(氏名) 吉井 出

TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	290,870	4.1	16,330	△13.8	15,470	△21.8	6,494	△33.7
23年3月期第3四半期	279,458	32.6	18,933	102.0	19,785	116.6	9,795	153.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,044百万円 (△34.9%) 23年3月期第3四半期 7,745百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.95	—
23年3月期第3四半期	33.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	314,081	116,138	34.5
23年3月期	340,161	113,785	31.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 108,332百万円 23年3月期 106,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	2.7	22,000	△4.0	22,000	△5.9	11,000	29.1	37.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	309,946,031 株	23年3月期	309,946,031 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	13,992,857 株	23年3月期	14,127,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	295,899,328 株	23年3月期3Q	295,823,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では、欧州債務危機による金融市場の混乱や、失業率の増加など経済活動に停滞感が見られました。中国やインドなど新興国では、成長は継続しているものの、金融引き締めやタイの洪水などにより減速感が強まりました。国内では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により生産活動が停滞するなど大きな影響を受けましたが、サプライチェーンの回復とともに徐々に生産活動の復旧が進みました。一方、外需の伸び悩みや円高による輸出環境の悪化、国内市場の縮小など、厳しい状況が続いています。

当社グループの事業環境については、自動車関連製品は、東日本大震災の影響による落ち込みから想定よりも早いペースで回復し、その後も比較的堅調に推移しました。また電子材料向け製品は、東日本大震災やタイの洪水によるサプライチェーンの混乱があり、加えて半導体関連製品は生産調整の影響を受けました。一方では、スマートフォンや多機能携帯端末向け製品などの需要が拡大しました。相場面では、金属価格が総じて高値圏で推移しましたが、為替は円高基調が継続しました。

当社グループは、このような状況の中、東日本大震災の影響を受けた生産拠点の早期復旧や夏場の電力不足対応など操業の安定化に努め、また中国やインド、東南アジアなどアジア地域への事業展開を進め、事業環境の変化に対応してきました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4%増の290,870百万円、営業利益は同14%減の16,330百万円、経常利益は同22%減の15,470百万円、四半期純利益は同34%減の6,494百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、全体的に顧客の廃棄物排出量が伸び悩む中で集荷ネットワークを強化し増集荷・増処理を図りました。また、エコシステム山陽㈱で開始した微量PCB廃棄物処理事業が計画通り順調に立ち上がりました。土壌浄化は、不動産取引が低調な中、新規浄化技術の導入や海外案件の受注に努めました。リサイクルでは電子部品や廃家電、シュレッダーダストの回収に努めましたが、廃家電の数量が落ち込みました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比14%増の66,813百万円、営業利益は同16%増の2,934百万円となりました。

製錬部門

金属価格については、上期は、歴史的な高値圏まで上昇した金・銀・銅をはじめ、亜鉛・鉛・インジウムなども前年同期より上昇しました。しかし、第3四半期では銅、亜鉛などで調整局面に入り、価格が下落しました。

震災の影響で、製錬所のうち小坂製錬㈱、秋田製錬㈱が操業を一時的に停止しましたが、早期に操業を再開し生産量の確保に努めました。また、持分法適用会社の小名浜製錬㈱も操業を再開し、第3四半期は順調に操業しています。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比9%減の127,352百万円、営業利益は前期に中間半製品の売却による一時的な収益があったこともあり、同28%減の3,749百万円となりました。

電子材料部門

パソコンや携帯電話などIT関連製品について市場ニーズの実現に加えて、パワー半導体向けの窒化物半導体（HEMT）など新製品の上市や新規顧客の獲得に努めました。需要面では、上期は比較的堅調に推移したものの、第3四半期に入り、半導体や電子材料の一部で在庫調整が本格化し、販売量が落ち込みました。

これらの結果、当部門の売上高は、銀などの地金価格が上昇した影響で前年同期比26%増の65,091百万円、営業利益は同29%減の4,041百万円となりました。

金属加工部門

自動車向けなどの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、第1四半期では国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け販売量が減少しましたが、第2四半期に入り急速に回復し前年度並みの水準となりました。一方で半導体向けの伸銅品は需要回復が遅れています。産業機械向けのセラミックス基板は需要が比較的堅調に推移し、また歩留まりの向上や生産性の改善に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比4%増の58,467百万円、営業利益は同12%減の3,409百万円となりました。

熱処理部門

熱処理加工では、第1四半期では国内自動車生産が震災の影響で減少したことを受け受注が減少しましたが、第2四半期以降は前年度並みに回復しました。このような状況の中、生産効率の高い工場へのシフトを進めるなど生産体制の強化に取り組みました。工業炉は、海外での生産拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の掘り起こしに努め、売上を増加させました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比15%増の13,889百万円、営業利益は同35%増の1,336百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して26,079百万円減少し、314,081百万円となりました。流動資産で21,124百万円の減少、固定資産で4,955百万円の減少になります。

流動資産の減少は、現金及び預金残高を圧縮したことにより8,686百万円減少させ、また棚卸資産の削減により、原材料及び貯蔵品が18,323百万円減少したことによります。固定資産の減少は、所有している上場株式の時価が下落したことなどにより投資有価証券が3,630百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度と比較して28,433百万円減少し、197,943百万円となりました。これは主に地金リース残高や借入金等の減少によります。

純資産については、当第3四半期（累計）純利益を6,494百万円計上した一方で配当金の支払により、株主資本が3,467百万円増加しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が1,976百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から3.1%増加し34.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成23年10月14日に公表した通期見通しの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,231	8,545
受取手形及び売掛金	55,484	53,813
商品及び製品	16,021	20,917
仕掛品	3,980	6,285
原材料及び貯蔵品	59,790	41,466
繰延税金資産	6,605	3,244
その他	8,755	12,158
貸倒引当金	△416	△101
流動資産合計	167,453	146,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,581	91,750
減価償却累計額	△47,535	△49,723
建物及び構築物(純額)	41,045	42,026
機械装置及び運搬具	184,381	191,361
減価償却累計額	△150,614	△158,889
機械装置及び運搬具(純額)	33,766	32,472
土地	22,275	22,224
建設仮勘定	5,052	3,478
その他	11,756	12,450
減価償却累計額	△9,795	△10,267
その他(純額)	1,961	2,183
有形固定資産合計	104,101	102,384
無形固定資産		
のれん	6,506	6,130
その他	1,593	2,334
無形固定資産合計	8,099	8,464
投資その他の資産		
投資有価証券	52,315	48,685
長期貸付金	223	173
繰延税金資産	5,542	5,870
その他	2,629	2,300
貸倒引当金	△204	△125
投資その他の資産合計	60,506	56,903
固定資産合計	172,708	167,752
資産合計	340,161	314,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,367	32,434
短期借入金	54,290	47,919
未払法人税等	2,732	1,159
未払消費税等	2,156	653
引当金		
賞与引当金	2,831	1,513
役員賞与引当金	158	105
引当金計	2,989	1,619
その他	28,695	17,852
流動負債合計	124,232	101,638
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	73,829	67,372
繰延税金負債	1,888	1,620
引当金		
退職給付引当金	10,637	10,612
役員退職慰労引当金	517	596
その他の引当金	537	470
引当金計	11,691	11,678
その他	4,734	5,632
固定負債合計	102,143	96,304
負債合計	226,376	197,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	48,152	51,621
自己株式	△5,763	△5,765
株主資本合計	105,188	108,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,024	2,434
繰延ヘッジ損益	△865	687
為替換算調整勘定	△2,504	△3,444
その他の包括利益累計額合計	1,654	△322
少数株主持分	6,942	7,805
純資産合計	113,785	116,138
負債純資産合計	340,161	314,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	279,458	290,870
売上原価	240,716	254,031
売上総利益	38,742	36,839
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	2,465	2,408
販売手数料	412	408
役員報酬	1,026	959
給料及び手当	4,075	4,252
福利厚生費	1,092	1,121
賞与引当金繰入額	314	309
退職給付費用	318	343
役員退職慰労引当金繰入額	136	130
賃借料	539	538
租税公課	603	604
旅費及び交通費	957	967
減価償却費	528	543
開発研究費	3,186	3,495
のれん償却額	398	376
その他	3,751	4,048
販売費及び一般管理費合計	19,808	20,509
営業利益	18,933	16,330
営業外収益		
受取利息	100	84
受取配当金	599	531
為替差益	409	—
持分法による投資利益	1,529	—
受取ロイヤリティー	206	640
その他	1,210	1,276
営業外収益合計	4,055	2,532
営業外費用		
支払利息	1,692	1,495
為替差損	—	160
持分法による投資損失	—	542
その他	1,511	1,193
営業外費用合計	3,203	3,392
経常利益	19,785	15,470

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別利益		
補助金収入	14	342
固定資産売却益	88	30
受取保険金	—	22
貸倒引当金戻入額	51	—
投資有価証券売却益	38	—
その他	67	127
特別利益合計	261	523
特別損失		
災害による損失	—	624
環境対策費	—	559
固定資産除却損	275	309
投資有価証券評価損	1,114	250
事業撤退損	—	243
減損損失	59	125
退職給付制度改定損	832	34
固定資産売却損	2	3
貸倒引当金繰入額	171	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	—
その他	216	437
特別損失合計	2,752	2,589
税金等調整前四半期純利益	17,293	13,404
法人税、住民税及び事業税	3,113	2,433
法人税等調整額	2,911	3,899
法人税等合計	6,024	6,333
少数株主損益調整前四半期純利益	11,268	7,070
少数株主利益	1,473	576
四半期純利益	9,795	6,494

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,268	7,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,834	△2,725
繰延ヘッジ損益	△638	1,552
為替換算調整勘定	△536	△491
持分法適用会社に対する持分相当額	△513	△361
その他の包括利益合計	△3,523	△2,025
四半期包括利益	7,745	5,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,284	4,517
少数株主に係る四半期包括利益	1,461	527

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,505	123,494	50,233	55,967	12,085	278,286	1,171	279,458	—	279,458
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,069	16,616	1,469	29	0	40,185	6,796	46,981	△46,981	—
計	58,575	140,111	51,702	55,996	12,085	318,471	7,968	326,440	△46,981	279,458
セグメント利益	2,519	5,207	5,709	3,882	990	18,308	38	18,346	586	18,933

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額586百万円には、セグメント間取引消去額659百万円及び未実現利益の調整額△73百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	40,970	114,279	62,360	58,448	13,888	289,948	922	290,870	—	290,870
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	25,843	13,072	2,730	18	0	41,666	5,644	47,310	△47,310	—
計	66,813	127,352	65,091	58,467	13,889	331,614	6,567	338,181	△47,310	290,870
セグメント利益	2,934	3,749	4,041	3,409	1,336	15,471	110	15,581	748	16,330

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額748百万円には、セグメント間取引消去額621百万円及び未実現利益の調整額127百万円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。